

令和7年度 湘南新産業創出コンソーシアム事業計画

(1) コンソーシアム事務局運営事業

①目的

湘南新産業創出コンソーシアムの中核機能として、事業を円滑に運営するための事務局機能の充実と企業の課題解決や経営資源の強化等を図るため、各事業の取り組みを行う。

②事業内容

コンソーシアム事業の運営を行うとともに、各事業を円滑に行うため、事務局機能の充実を図る。また、創業支援や新事業創出の推進や促進を図るため、主に次の取り組みを行う。

a. 公的助成金等申請支援業務

認定経営革新等支援機関として、企業に対して公的助成金等に関する情報提供や申請書ブラッシュアップ支援などを行う。

b. 個別相談業務

創業希望者や経営資源の課題を抱える企業からの相談に対して、解決の糸口となる指導や助言、必要に応じて専門家や大学、研究機関、企業などの紹介を行う。

c. インキュベーションマネジャー（IM）出張相談業務

市内コワーキング施設等に当財団インキュベーションマネジャーを定期的に派遣し、相談対応や企業間マッチングなどの支援を行う。

d. SNSによる情報発信等業務

各実施事業の周知やリアルタイムの情報提供を行うため、LINE・Instagramのフォロワー数の増加を目指す。

e. 専門セミナー・事業者間交流等業務

最新のトレンドや経済動向、法務・財務等の専門セミナーを実施するとともに事業者のマッチングや連携を目的とした交流会等を開催する。

③事業目標

a. 公的助成金等獲得目標 5件

b. 経営課題等相談対応 180件

c. IM出張相談回数 48件

d. SNSフォロワー数 700者 (LINE・Instagram)

e. セミナー等参加者 100名

(藤沢市などからの負担金事業)

(2) 湘南ビジネスコンテスト事業

※藤沢市が産業競争力強化法に基づき国から認定を受けた「創業支援等事業」

①目的

藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町において、創業や新事業展開を行う者を対象として、コンテスト形式によるビジネスプラン発表会を開催し、事業アピールの場や第三者の評価を得る機会を提供するとともに、応募者に対して専門家等と連携した手厚い支援を行うことにより、地域における創業や新事業展開を促進する。

②事業内容

「第26回湘南ビジネスコンテスト」として、創業や新事業といった区分によりビジネスプランを募集して、書類審査、オープンプレゼンテーション（最終）審査を経て受賞者を決定する。応募時から最終審査に至るまでの数ヶ月間において、様々な支援メニューによりビジネスプランのブラッシュアップや、経営、財務、人材、販路開拓などに関する応募者のスキルアップを図るほか、フォローアップとして継続的に経営資源に関する課題の解決や企業間交流、大学・経済団体との連携、公的制度の紹介などのニーズに対する支援を実施する。

③事業目標

a. 創業支援対象者（応募者） 60件

b. 上記のうち事業化・法人化 2件

(藤沢市・藤沢商工会議所・茅ヶ崎市・寒川町からの負担金事業)

(3) 都市拠点型起業家育成施設運営事業

※藤沢市が産業競争力強化法に基づき国から認定を受けた「創業支援等事業」

①目的

都市拠点型起業家育成施設の運営により、創業希望者や創業間もない企業など、入居者に対する総合的な支援を行い、育成企業の市内定着を目指す。

②事業内容

藤沢商工会館の3階に設置された都市拠点型起業家育成施設「湘南藤沢インキュベーションセンター（SFIC）」（全13室）とシェアードオフィス及び慶應藤沢イノベーションビルレッジ1階に設置された都市拠点型起業家育成施設「湘南藤沢インキュベーションセンター2（SFIC-02）」（全8室）の運営管理と入居者に対する支援を行う。

a. インキュベーションマネジャーによる支援

インキュベーションマネジャー（財団職員等）が関係機関や専門家と連携し、当該施設の入居者に対して、経営、財務、人材、販路開拓等に関する総合的な支援を行うとともに、施設退去後もフォローアップを行う。

b. 入居者向け勉強会

経営・財務・人材・販路開拓等をテーマにした勉強会を実施することで入居者の知見を高める。

c. 入居者相互の交流促進による事業者連携の促進

入居者が交流する機会を設け、新たなビジネス機会の創出や事業者間連携による協業の促進を図る。

③事業目標

a. SFIC入居率	100%
b. 前年度比売上増加企業数（SFIC入居企業）	7者
c. SFIC-02入居率	87%
d. シェアードオフィス入居者	12者
e. シェアードオフィス入居者による新規事業化・法人化	1件

（藤沢市からの負担金事業）

(4) 創業機運醸成フォーラム事業

※藤沢市が産業競争力強化法に基づき国から認定を受けた「創業支援等事業」

①目的

創業を意識していない、あるいは漠然とした認識の若年層に対し、意欲向上や知識習得などの場を提供し、創業への潜在的な意識を刺激することで地域における創業への裾野を拡大する。

主たる進路である進学と異なる選択肢を提示するのではなく、進学後、卒業後あるいは就職後など時期を問わず、市内で創業する際はいつでも支援を受けられることも併せて周知する。

②事業内容

藤沢市に立地する高等学校（公立、私立）と連携し、高校生を対象に、著名起業家（経営者）による講演とワークショップをアウトリーチ型で開催する。創業に至る経緯やメリットなどを解説する。

③事業目標

a. 参加者へのアンケートを行い、創業への関心が高まった（理解した）との回答を8割以上得る。
（藤沢市からの負担金事業）

(5) スタートアップ支援フォーラム事業

※藤沢市が産業競争力強化法に基づき国から認定を受けた「創業支援等事業」

①目的

市内における創業者の増加を目指し、潜在的創業者の掘り起こしを行うため、主に大学生を対象に、創業を具体的にイメージする機会を創出する。併せて、創業時における支援施策などについても紹介する。

②事業内容

市内大学と連携し、在学生向けに市内起業家による基調講演と意見交換をセットにしたフォーラムをアウトリーチ型で実施する。創業に至るマインドや具体的に必要なことなどを解説する。

③事業目標

- a. 参加者へのアンケートを行い、創業への関心が高まったとの回答を8割以上得る。
(藤沢市からの負担金事業)

(6) 海外事業展開等支援事業

①目的

市内中小企業のグローバル展開や海外の販路拡大のほか、少子高齢化・労働力人口の減少による人材不足解消を目的とした外国人人材の採用等を支援する。

②事業内容

ベトナム社会主義共和国を中心とする東南アジア地域を対象に、ビジネス交流、人材採用促進に関するセミナーや相談業務を行う。また、従来のベトナムミッションに加え、成長著しいインドネシアも含めた現地ミッション（事前・事後研究会含む）を実施する。

③事業目標

- | | |
|----------------|-----|
| a. セミナー・研究会参加者 | 30名 |
| b. 相談対応 | 12件 |
| c. ミッション参加企業 | 12社 |

(藤沢市からの負担金事業)

(7) コミュニティビジネス支援事業

※藤沢市が産業競争力強化法に基づき国から認定を受けた「創業支援等事業」

①目的

地域社会の課題解決に向けて、市民、NPO、企業など、様々な主体が協力しながらビジネスの手法を活用して取り組むコミュニティビジネス（CB）を推進し、地域における創業や雇用の創出等を通じた地域活性化を図る。

②事業内容

各種セミナー、イベント、相談業務等を実施することにより、事業化や事業の安定化を図る。また、市内CB事業者のネットワークや専門性を活用し積極的にコラボレーション型の事業展開を行う。

③事業目標

- | | |
|---------------------------|------|
| a. 支援対象者（セミナー・イベント・相談対応等） | 120名 |
| b. 支援対象者のうち創業もしくは事業化 | 2件 |

(藤沢市からの負担金事業)

(8) ロボット産業に対する参入支援・人材育成事業

(8)-1. ロボット産業に対する参入支援事業

①目的

市内中小企業等を対象としたセミナー及び交流会を開催することにより、ロボット産業への興味・理解を深め、新たに挑戦・参入する企業の掘り起こしを行うとともに、同業・異業種企業のマッチングによる新たな気づきや共同研究等を促進する。

②事業内容

ロボット関連団体と連携し専門家による講演のほか、講演内容・テーマに関連する企業を交えたパネルディスカッションやロボット製品の体験等を行う「藤沢ロボット産業研究会」（全5回を予定）を開催する。

③事業目標

- | | |
|--------|------|
| a. 参加者 | 100名 |
|--------|------|

(藤沢市からの負担金事業)

(8)-2. 次世代を担う子どもたちへ向けた事業

①目的

市内の小・中学生を対象に、プログラミングのイベントや講座を実施し、文部科学省が定める新学習指導要領における情報及び情報手段を主体的に選択・活用していくための個人の基礎的な力「情報活用能力」の育成につなげていく。

②事業内容

ふじさわプログラミングコンテストなどの大会に向けた講座を実施するとともに、まだプログラミングを体験したことがない子どもたち向けにイベントを実施する。

③事業目標

a. 参加者	120名
(藤沢市からの負担金事業)	

(9) 生活支援ロボット普及啓発等推進事業

(9)-1. 生活支援ロボット普及啓発等推進事業

①目的

藤沢市が政策的に実施するスマートシティの推進事業の取り組みの一つである生活支援ロボットの普及啓発等（常設展示、導入指導、人材育成、観光誘客、特区活用）について、「ロボテラス」を拠点とし実施することにより、ロボット産業の振興を通じ、地域経済の活性化を図る。

②事業内容

ロボット活用の先進都市を目指す藤沢市独自の先導的な事業として、「ロボテラス」の運営・管理を行う。また、国内外からの施設見学に対応するほか、周辺施設や特区制度による国・県と連携を行う。

- a. ロボテラスの運営・管理
- b. ロボットの普及啓発（常設展示、企画展、出張イベント、周辺施設との連携事業の開催）

③事業目標

a. ロボテラス来場者	15,000名
b. 出張イベント来場者	5,000名
(藤沢市からの負担金事業)	

(9)-2. 出張ロボット体験施設設置・運営事業

①目的

「さがみロボット産業特区」の目指す「ロボットと共生する社会の実現」に向けた取り組みの一環として、生活支援ロボットの実用化と普及を進めていくため、「出張ロボット体験施設」の運営を行う。

②事業内容

県内で行われる産業普及の各イベント等に出張し、施設外でも生活支援ロボットを広く体験してもらう。

- a. 出張イベント
- b. 出張イベントにおけるロボット共生をイメージするパネルやパンフレットの配置
- c. イベント来場者アンケートの実施・集計（満足度・「さがみロボット産業特区」の認知度）

(神奈川県からの受託事業)

(9)-3. ロボット企業交流拠点事業

①目的

ロボット企業がいつでも集まることのできる交流拠点を設置することで、大企業や部品製造業、大学などが同拠点に集まり、ロボット企業との商談や共同研究などを行えるような環境を整備する。

②事業内容

藤沢駅周辺に開設したロボット企業交流拠点「ロボリンク」の管理・運営を行う。また、同拠点を利用するロボット関連企業のロボットを展示するショールームの管理・運営及び県民が気軽に生活支援ロボットを体験できるイベント等を実施する。

- a. ロボリンクの運営、管理
- b. 生活支援ロボットを展示、見学体験できるショールームの運営
- c. ロボット企業等が利用できるコワーキングスペース等の運営
- d. ロボット企業や県民向けのイベント実施

(神奈川県からの受託事業)

【 参 考 】

2. 産業支援受託事業

(1) 藤沢市大学連携型起業家育成施設支援事業

※藤沢市が産業競争力強化法に基づき国から認定を受けた「創業支援等事業」

①目的

大学連携型起業家育成施設において、大学発ビジネスシーズの事業化など、大学と連携して新事業に取り組む起業家や事業者を支援し、育成企業の市内定着を目指す。

②事業内容

(独) 中小企業基盤整備機構が慶應義塾大学、神奈川県、藤沢市と連携して運営する大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ（SFC-IV）」にインキュベーションマネジャー（IM）及び事務員を派遣し、当該施設の入居者に対して、経営、財務、人材、販路開拓等に関する総合的な支援を行うとともに、施設退去後もフォローアップを行う。

(藤沢市からの受託事業)

(2) 藤沢市中小企業融資制度運営事業

①目的

市内中小企業の振興と経営の安定を図り、地域経済の発展と活性化に寄与する。

②事業内容

a. 藤沢市中小企業融資制度の相談受付、資格審査等の窓口業務

(a) 中小企業支援資金

(b) 景気対策特別資金

(c) 小規模企業緊急資金

(d) 創業支援資金「キュンとするスタートアップ」

b. 中小企業融資制度利子補給及び信用保証料補助の受付・審査業務

c. 中小企業信用保険法に基づくセーフティネット保証認定業務

(藤沢市からの受託事業)

(3) 地域景気動向調査事業

①目的

藤沢市域の景気動向と企業ニーズを的確に把握し、行政の経済施策と市内企業の事業展開の指針とする。

②事業内容

年2回（9月期、3月期）、市内企業350社を対象に調査票を発送し、回収・集計・分析を行い、その結果を報告する。規定の調査項目に加え、適時なテーマ設定による設問を追加して調査を行うとともに、調査票回収と並行して市内企業20社にヒアリング調査を実施する。

さらに20社のヒアリング先に加え、別途市内企業70社を訪問し、景況や事業展開におけるニーズ等を調査し、その結果を報告する。

(藤沢市からの受託事業)